



加藤 博徳 議員



ラウンドアバウト完成予想図

町道西古泉筒井線の完成時期の変更はなぜ

答 まちづくり課長

町道西古泉筒井線の道路延長700メートルのうち約400メートルの盛り土工事が完了している。

完成時期は、本年6月定例会の一般質問で国の補助金の交付額が要望額に対して非常に低いため

未定と答えた。だが、国

からの補助金が今の水準で交付されることを前提に、改めて検討した結果、平成33年度中の完成を目指す。ただし、様々な

社会情勢の中で補助金の交付状況が悪くなった場合は、工事の完了が延期することも考えられる。

本年度は、エミフル側

の交差点改良(ラウンドアバウト)と伊予鉄道郡中線の踏切新設工事に着手し、今年度と来年度の2か年にわたって工事を

行う。踏切の新設に伴い廃止される踏切は、岡田農協踏切と筒井東踏切になる。

公共施設等統合管理計画費用の算出精度は

問 事業費は個々の施設を細かく見て試算した事業金額ではないのか。

答 町長

そのとおりだ。

定めた基本的な考え方、方針に基づいてこれから個々の施設をどうしていくかを検討して考え方をまとめた計画だと御

理解いただきたい。

400億円は、今ある施設をずっと持つとすれば、いくら必要かを施設ごとに算出したものだ。

体育館であれば、大規模改修するのは1平米当たり何円という単価が国から提示されていて、それを単に面積に掛けて積み上げた金額が400億

円だ。それを詳細に計算

することは今の段階ではできない。計算する意味もないということだ。細かい内容は、今後、その方針に向かって計画を立てていく。

問 ラウンドアバウトと踏切工事が完成しても、町道西古泉の完成が4年先であれば、それまで踏切の利用出来ないのか。

答 それまで利用できない。

問 今後の組織運営は。

答 副町長

庁内組織、公共施設等総合管理計画をこれから実効性のあるものにしていくために各部課長で組織している。

総合計画推進検討委員会、これ全庁的な組織です。その上に**公共施設等管理計画推進本部**というのをつくっている。